

県議会おたけ

題字は、大分高等学校3年廣石 桃羽^{ひろいし もも は}さんの作品です。

No. 125

大分県議会
令和4年2月発行



12月10日(金)に大分市竹町のガレリア竹町ドーム広場において、令和3年度大分県飲酒運転根絶フェアに参加しました。

当日は、議長など25人の議員が出席し、竹町周辺で「飲んだらのれん」のマントを着たキャラクター付きメモ帳などを配り、街頭啓発活動を行いました。

目次

- 令和3年第4回定例会 2
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会、政策検討協議会、決算特別委員会 5
- 常任委員会、県議会重大ニュース 6
- 議員フォーカス 8
- トピックス・県議会今後の動き 10

令和3年第4回定例会

11月24日から12月10日までの17日間、開催しました。

国の経済対策に対応し、新型コロナウイルス対策の強化及び社会経済の再活性化に向けた取組の拡充などを含む補正予算案や、県立国東高等学校双国校の今年度末での廃止に向けた、大分県立学校の設置に関する条例の一部改正についてなどの議案が提出されました。

12月1日から3日間にわたり行われた一般質問には、12人の議員が発壇し、令和4年2月に開催予定のI S T S(宇宙技術及び科学の国際シンポジウム)の内容や波及効果、不登校児童生徒に対する対策などについて、執行部と活発な議論を行いました。

また、各常任委員会を12月6日、7日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案30件について可決・同意・認定しました。



一般質問

12月1日(水)



公明党
吉村 哲彦 議員

問

社会や地域、環境等に配慮するエシカル消費への意識が高まり、様々な分野で取り組もうとする動きも始まっています。これからの消費活動における一つの指針となり得るエシカル消費をどう捉え、推進していくのか地産地消の観点も踏まえ知事の見解を伺います。

答

令和3年3月策定の第4次大分県消費者基本計画には、エシカル消費の普及啓発を新たに盛り込み、講演会や環境保全型農業の推進などエシカル消費につながる取組を進めています。地産地消では、県産食材を使用した料理を提供する「とよの食彩愛用店」や、7月の地産地消月間には地元食材を使ったカレーを児童生徒に振る舞う取組などを行っています。

今後は、エシカル消費に社会全体で取り組み、定着を図るとともに、新たな産業やサービスの創出にもつなげていきます。

吉村議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



自由民主党
木付 親次 議員

問

宇宙技術及び科学の国際シンポジウム、I S T Sが、新型コロナウイルス発生以来、県内で初めての大分県国際会議として開催されます。早くして令和4年には宇宙港として大分空港から人工衛星を打ち上げることもあり、時宜を得た大会になると思います。そこで、I S T Sで実施されるプログラムの内容を含め、大会により県内に期待できる波及効果について、知事の見解を伺います。

答

I S T Sの初めの2日間は「おおいたそらはく」と銘打ち、現役宇宙飛行士の講演や高校生による発表、スペーススポーツを有する地域や宇宙産業に挑戦する方々が集う「スペースポートサミット2022」などを開催し、県民の皆さんの期待に沿うイベントにしたいと考えています。

波及効果としては、多くの有識者が集まるこの機会に、県内各地で教育や宇宙食に取り組む方達との交流を通じ、新たなネットワーク構築やビジネス創出につなげていきたいと考えています。

木付議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



県民クラブ
二ノ宮 健治 議員

問

平成30年4月に主要農作物種子法が廃止されました。国民にとっての命を守る主食の種を守ることを、法律の廃止と言いつ形でやめることについての見解を伺います。

答

主要農作物種子法は、制定から60年以上経過し、生産技術や品質の向上によって米の供給不足が解消されるとともに、多様化する需要に対応する必要性などもあり、時代の流れを踏まえ廃止されたものです。

本県では、地域特性を生かした農業振興や新品種の開発・普及を定めた「おおいたの食と農林水産業振興条例」と、同条例に基づき法規定を反映した要綱等により、従前同様、安定供給の体制を継続しています。

今後も、関係機関との連携を密にし、優良種子の安定的な生産と供給を続けていきます。

二ノ宮議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。





自由民主党
井上 明夫議員

問

平成11年以降、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いています。県実施の「令和2年度子ども・子育て県民意識調査」でも、理想と現実の子どもの数の乖離がこの4年間で是正されておらず、より効果的な政策を検討する必要があります。

今後の子育て満足度日本一に向けた取組について、知事の見解を伺います。

答

県民意識調査で平成30年度、就学前児童のいる世帯が最も負担を感じる費用の1位であった「保育料、幼稚園授業料」は、本県独自の第2子以降の3歳未満児保育料の全額免除も寄与し、令和2年度は4位となり、「負担を感じない」という割合も増えていきます。

共働き世帯が増加する中、女性の家事・育児にかかる負担感の軽減も大変重要です。これまでの経済的支援策を堅持するとともに、働き方改革や男性の子育て参加を推進し、男女が共に家事・育児を担う社会を目指します。

井上議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



12月2日(木)



県民クラブ
原田 孝司議員

問

税収減などにより財源構成が変わる中、令和4年度は、継続した新型コロナウイルス対策の実施、ポストコロナを見据えた経済対策など、歳出のメリハリをいかに付けていくかが重要です。

そこで、令和4年度予算編成の基本方針、特に歳入の編成をどのように考え、取り組むのか知事の見解を伺います。

答

まずは感染拡大防止の徹底と社会経済の再活性化に向けて全力で取り組む必要があります。さらに、構造改革への挑戦のため、特別枠を設け、積極的に新たな事業を構築していきます。

多くの政策課題に対処するためには、安定的な歳入確保が鍵となります。引き続き国に対し、地方の実情に応じた財源の確保を強く求めていきます。また、県税収入は堅調ではあるものの、的確に見積もっていく必要があります。

歳入・歳出両面のバランスを取りつつ、予算編成に取り組んでいきます。

原田議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



自由民主党
阿部 長夫議員

問

大分空港へのアクセス改善に向けて海上アクセスの整備が着々と進んでいます。それに並んで重要となるのが陸上アクセスです。大分空港道路は、宇宙港など大分空港を活用した様々な取組が予定されている中で、需要が加速することが明らかです。

道路沿線の自治体の産業競争力を強化する意味でも、是非4車線区間の延伸をお願いしたいですが、見解を伺います。

答

大分空港道路は、空港アクセス、国東半島の周遊観光や緊急輸送道路としての役割を担う重要な路線です。

平成22年の無料化後、交通量が増加し、速度低下が課題となりました。このため、令和元年に全線の約37%を4車線化し、効果も現れています。また、橋梁の耐震補強を進めるなど、安全安心な通行の確保にも取り組んでいます。

4車線の延伸については、果たすべき機能や役割、交通実態の変化も踏まえ、引き続き検討していきます。

阿部議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



県民クラブ
成迫 健児議員

問

本県の不登校児童生徒数の推移を見ると、増加傾向を示しており、残念な結果となっています。県として不登校児童生徒数が増えている原因をどのように分析していますか。

また、教育機会を確保する新たな方策として、オンライン授業に可能性を感じますが、全県下での実施を検討する考えはないか、あわせて見解を伺います。

答

不登校の要因は複雑で、増加原因の特定は難しいですが、学校に対する意識の変化のほか、児童生徒の休養の必要性が理解されて来たことなどが背景にあると考えられます。

オンライン授業については、個々の状況に応じた効果的な支援につながるよう検討を進める必要があります。教室の授業をそのまま配信するだけでは効果は薄いと考えています。このため、来年度一部の小中学校で、効果的な授業配信の方法等について研究予定です。今後、関係機関と協議を重ねながら検討していきます。

成迫議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。





自由民主党
清田 哲也 議員

問

令和元年の本県のブリ養殖生産量は全国2位を誇り、県内水産業の要となっております。ブリ養殖は稚魚であるモジヤコ漁から始まり、1年半にわたって手塩にかけて育てられ、県産ブリとして出荷されています。

そのモジヤコが、今年は約5割しか獲れていません。

この不漁の影響をどう分析し、モジヤコの安定的確保に向けてどう取り組むのか、見解を伺います。

答

不漁の影響としては、来年のブリ生産量の大幅減少が見込まれ、それを見据えて今年の出荷を抑える動きもあることから、高値で取引される状態が続くことが予想されています。

安定的な確保のため、モジヤコの来遊時期を的確に捉えた適切な漁の許可期間の設定等について、国や関係県と協議を進めています。

さらに、採捕後に餌付けが難しい小型モジヤコの育成技術の開発や、不漁時に即応できる人工種苗の生産体制の整備などに取り組み、安定的な種苗の確保に努めます。

清田議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



12月3日(金)



自由民主党
衛藤 博昭 議員

問

アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される「アドベンチャーツーリズム(AT)」は、三密を避けられることから人気もあり、経済波及効果も高い旅行形態です。

ツーリズム戦略の改訂時期が近く中、ATをどのように捉え、今後対応していくのか、知事の見解を伺います。

答

自然アクティビティはコロナにおいても人気で、ポストコロナにおいて、ATは「おんせん県おおいた」の力強い復活を図る上で有益です。

世界に誇る自然など、本県の強みをいかした体験プログラムづくりや、自然や文化の説明のみならず、唯一無二の体験を提供するガイドの育成、さらには、滞在時間を増加させ、観光消費の拡大へとつなげるための効果的な情報発信の三点が重要だと考えています。

こうした取組により、新たな旅行ニーズを獲得し、さらなる誘客を図っていきます。

衛藤議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



県民クラブ
玉田 輝義 議員

問

激動の時代の中、弱いところにしわ寄せがいかないような県政、持続可能な県政がこれまで以上に求められています。

ポストコロナ時代に向けた大分県像をどのように捉え、具体的にどのように導こうとしているのか、知事の見解を伺います。

答

ポストコロナに向けて、誰もが希望をもって暮らせる社会を築くため、次の3点を念頭に県政を進めます。

第一は新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済の活性化です。県土強靱化も着実に進めます。

第二は本県最大の課題である大分県版地方創生の加速前進です。例えば、農林水産業では園芸品目の生産拡大など、構造改革を加速させ、成長産業化を図ります。

第三はDXと先端技術への挑戦です。あらゆる分野でDXを進め、AIなどの先端技術を地域課題の解決に向けて、活用していきます。国の経済対策も積極的に活用しながら、持続可能な大分県づくりを力強く進めていきます。

玉田議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



自由民主党
後藤 慎太郎 議員

問

校則の内容や必要性について、全ての県立高等学校で生徒と話し合う機会を設け、その結果、全日制課程のほとんどの学校で既に見直しを開始した、または今後見直しの予定があると聞きました。

今回の取組における生徒、教員への効果と、明らかになった課題、そして、今後の校則の見直しへの取組について、見解を伺います。

答

今回の取組を通じて、学校からは、生徒が異なる考え方に触れることに意義を感じたなどの報告があり、生徒の主体性を培うことにつながったと考えています。

一方、校則の必要性や背景などを生徒に説明するといった取組がこれまで十分ではなかったことが課題であると考え、機会を捉えて説明するよう指導しています。

生徒が今回の取組を通して培った主体性を、学校生活で発揮できるように機会を、今後も積極的に設けるように学校に促したいと考えています。

後藤議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。





日本共産党
堤 つつみ
栄三 議員

問

新型コロナウイルスが第5波まで拡大したことへの反省に立つて、削減ありきの姿勢を中止し、社会保障や医療体制を拡充する施策を講じていく必要があると考えます。また、PCR検査は対象を拡大する必要があり、保健所については、平時から職員の増員などの体制強化を図るべきと考えます。知事の見解を伺います。

答

本県では、医療については「病床削減ありき」ではなく、地域のニーズに応じた適切な提供体制の整備に努めてきました。第5波の経験から、次の流行に備え、入院病床と宿泊療養施設は予想される必要数を大きく上回る数を確保しています。

PCR検査は、感染拡大傾向のときに、感染不安のある無症状者に無料検査を行うための予算を今回追加提案しています。現場で必要となる人員については、保健師等の増員や民間委託などを実施します。加えて、ICTの活用などにより、職員の負担軽減にも力を入れていきます。

堤議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



可決・同意・認定された議案等
(知事提出)

○予算(3件)

▽令和3年度大分県一般会計補正予算(第11号)
ほか

○条例関係(6件)

▽大分県使用料及び手数料条例の一部改正について
▽大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について
ほか

○人事(2件)

▽教育委員会委員の任命について
▽公害審査会委員の任命について
ほか

○決算(15件)

▽令和2年度大分県一般会計歳入歳出決算の認定について
ほか

○その他(4件)

▽工事請負契約の締結について
ほか



特別委員会等の活動

政策検討協議会

昨今の社会情勢などへ対応するため、また議会活動のさらなる活性化のため、政策検討協議会において、本会議や委員会のペーパーレス化等について協議を行っています。



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

- 11月16日に開催しました(第6回)
内容：新型コロナに関する県民アンケート(9月上旬～11月上旬実施)の集計結果や、中間報告の方向性等協議



決算特別委員会

- 9月に委員会を設置し、下記の日程で審査を実施しました。

10月5日～11日〔公営企業会計・一般会計・特別会計〕

- ・企業局・病院局・会計管理者決算説明及び監査委員決算審査説明並びに審査
- ・各部局別の決算説明及び審査

10月25日

- ・決算審査報告の内容検討

11月4日

- ・採決及び審査報告書の検討・まとめ

- 決算議案15件については、原案どおり可決及び認定すべきものと決定し、検討または改善を求める事項をとりまとめの上、12月1日の本会議において委員長が報告しました。

会の活動

農林水産委員会

○委員会の開催状況

12月6日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

(付託を受けた議案等)

- ・令和3年度大分県一般会計補正予算(第11号) ほか

【参考人招致】

(11月22日)

全国農業協同組合連合会大分県本部の取組、女性が輝く農業経営について、それぞれ参考人から意見聴取を行いました。



全国農業協同組合連合会
大分県本部



ウーマンメイク株式会社
代表取締役社長 平山亜美氏

(12月6日)

大分県農業協同組合の取組について、参考人から意見聴取を行いました。



大分県農業協同組合

土木建築委員会

○委員会の開催状況

12月7日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

(付託を受けた議案等)

- ・令和3年度大分県一般会計補正予算(第11号) ほか

【県内所管事務調査】

12月13日、14日に宇佐、中津、日田、玖珠土木事務所管内を調査しました。

玖珠川(山ノ釣工区)



文教警察委員会

○委員会の開催状況

12月7日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

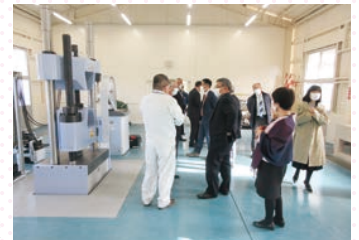
(付託を受けた議案等)

- ・令和3年度大分県一般会計補正予算(第11号) ほか

【県内所管事務調査】

12月13日に国東市、別府市内の学校を調査しました。

大分県立国東高等学校



県議会重大ニュース

3

子どもや若者に身近な県議会を目指した広報活動を展開

児童生徒・学生との意見交換、情報発信を積極的に実施しています。

- ◇県議会公式ツイッターを始動(4月1日)
- ◇出張おんせん県議会若者DAYを日本文理大学で開催(7月1日)
- ◇夏休み子ども議会見学を初めて開催(8月3日)
- ◇議員出前講座7校実施



4

津久見市で初となる出前県議会を開催

「津久見市のまちづくりと地域振興」をテーマに、まちづくりに取り組む5名の意見発表者と、議長、各常任委員長をはじめとする14名の議員が参加しました。

- ◇少子高齢化や人口減少に加え、コロナによる影響を受ける中で、飲食店への応援プロジェクトやYouTubeを活用した移住相談など、まちおこしの課題と展望について活発な議論を行った。(2月5日)



5

議会活動を活性化するDX(デジタルトランスフォーメーション)に着手

昨今の社会情勢や環境変化に対応し、リモート会議やペーパーレス化を推進します。

- ◇県議会への提出書類について、押印を廃止・省略し、手続の効率化を推進(1月1日)
- ◇ビジネスチャットの導入や、委員会室へのWEB会議用機器の整備により、リモートでの会議や意見聴取に対応



常任委員

総務企画委員会

○委員会の開催状況

12月7日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

(付託を受けた議案等)

- ・令和3年度大分県一般会計補正予算(第11号) ほか

【県内所管事務調査】

12月13日、14日に由布市、九重町、日田市、福岡市にて調査しました。



大分県拠点施設「dot.」(福岡市)

福祉保健生活環境委員会

○委員会の開催状況

12月6日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

(付託を受けた議案等)

- ・令和3年度大分県一般会計補正予算(第11号) ほか

【県内所管事務調査】

11月8日にオンライン方式にて、18日、19日に豊後大野市、佐伯市、別府市、大分市にて調査しました。

オンラインによる調査(地方機関)



商工観光労働企業委員会

○委員会の開催状況

12月7日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

(付託を受けた議案等)

- ・令和3年度大分県一般会計補正予算(第11号) ほか

【県内所管事務調査】

11月8日、9日に大分市、由布市、佐伯市にて調査しました。



産業科学技術センター

【参考人招致】

(12月7日)

「宇宙港は街づくり」という演題で、宇宙ビジネスへの取組などについて、参考人から意見聴取を行いました。



一般社団法人
おおいたスペース
フューチャーセンター
専務理事 高山久信氏

1

議員提案により「大分県手話言語条例」を制定

手話についての理解を深め、障がいのある人とない人がお互いの個性を尊重しあう大分県の実現を目指します。(3月5日可決)

- ◇議会として手話の普及に取り組むため、手話講座を開催(3月5日)
- ◇広報番組「県議会タイム」に手話通訳を導入(7月11日～)
- ◇県聴覚障害者協会と協同し、議会中継に手話通訳を導入(11月24日～)



令和3年(2021年)

2

安全・安心な日常に向けて新型コロナウイルス対応の調査・研究を開始

新型コロナウイルス感染症の流行の長期化を背景に特別委員会による専門的な調査・研究を開始しました。

- ◇平岩委員長、衛藤副委員長以下15名の委員による新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置(6月15日)
- ◇執行部の取組のチェック、医療関係者などの参考人招致を実施
- ◇コロナに関するアンケートを行い、幅広く県民の意見・要望を調査





県民の皆さまに県議会議員の「人となり」を知っていただき、議会を身近に感じていただこうと、趣味等を紹介するコーナーです。第3回は14名の議員を紹介します。

古手川 正治 (こてがわ まさはる) 自由民主党 津久見市

最近ハマっていること
就寝前、妻と二人でYouTubeを見ながら、ヨガやストレッチをしてから休むこと

趣味
朝夕、愛犬と散歩すること。月1回程度の健康ゴルフ

木付 親次 (きづき しんじ) 自由民主党 国東市・姫島村

趣味
大学時代はワングル部、今はウォーキング年間1,000kmが目標

おすすめの本
座右の書『貞観政要』(出口治明)

後藤 慎太郎 (ごとう しんたろう) 自由民主党 大分市

趣味
音楽 (70'sのsoulからcitypop、そしてhiphopが好き)

昔からはまっていること
スパイ映画、アクション映画、マーベル映画が好き

清田 哲也 (きよた たつや) 自由民主党 佐伯市

休日の過ごし方
佐伯球場での野球観戦とゆるいジョギング

最近ハマっていること
昔の邦画鑑賞とカボス栽培

河野 成司 (かわの せいじ) 公明党 大分市

趣味
柴犬との散歩で山を歩くこと (季節の変化を体感できるし、犬好きの子ども達とふれあえる)

最近ハマっていること
寝る時にインターネットラジオを聴きながら寝落ちすること

嶋 幸一 (しま こういち) 自由民主党 別府市

座右の銘
大事の前の小事 (大事をなすには小事にも油断してはいけない。小事に拘って大事を忘れてはならない)

趣味
詩吟、読書、映画鑑賞

小嶋 秀行 (こじま ひでゆき) 県民クラブ 大分市

趣味
カメラは、下手の横好きで、月に一度町内の写真クラブ例会 (6人) で「自慢会」をやっています。

スポーツ
特にゴルフは、会社勤めの頃から、先輩に誘われて始めました。スコアは停滞気味です。

木田 昇 (きだ のぼる) 県民クラブ 大分市

おすすめの本
スマホ脳 (アンデシュ・ハンセン)、人新世「資本論」(斎藤幸平)、宇宙からの帰還 (立花隆)

最近ハマっていること
合間を見て、各地の立ち寄り湯に行き、「おんせん県おおいた」を学ぶ



堤 栄三
つみみ えいせい
日本共産党
大分市

おすすめの本
「伊藤千代子の青春」戦争反対、民主主義を求め続けた若き女性の人生を描いた漫画

休日の過ごし方
色んなジャンルの本を読み、自分の活動の糧にしています。



高橋 肇
たか はし はじめ
県民クラブ
臼杵市

趣味
写真撮影、ドライブ、読書

最近の出来事
9年、15万km乗った車を買って替えました。いくつになっても新しいものにはワクワクしますね。



志村 学
しむら まなぶ
自由民主党
臼杵市

座右の銘
「天下為公」(孫文の名言)
— 国は国民のためにある —
— 為政者は民の奉仕者 —

特技
2020年五輪聖火を200年の歴史を誇る「山内流泳法」で臼杵川を泳いでリレー
私は中学2年時に免許皆伝



戸高 賢史
と たか けんし
公明党
別府市

座右の銘
「飲水思源」「報恩感謝」

スポーツ
小学校・中学校では野球でキャッチャー、高校ではラグビーでセンターとフルバックを務めました。



玉田 輝義
たま だ てるよし
県民クラブ
豊後大野市

最近ハマっていること
スバリ!!アウトドアサウナです。心身のリフレッシュに最高です。

趣味
水泳、サイクリング、登山。「いい加減に頑張る」をモットーに楽しんでいます。



末宗 秀雄
すえ もね ひでひこ
志士の会
宇佐市

趣味
囲碁、読書(おすすめは、司馬遼太郎の「坂の上の雲」「翔ぶが如く」、北方謙三の「チンギス紀」)

尊敬する人物
大谷翔平、西郷隆盛、大久保利通

その他の議員活動

県議会も大分トリニータを応援しています!

12月2日に榎社長をお招きし、今期の結果と来期に向けた意気込みを伺いました。来期に向けて頑張る大分トリニータを県議会も後押ししていきます。



台湾との友好関係を築いています!

12月27日に台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長が議会を表敬訪問されました。



トピックス

政策勉強会(11月24日)

令和3年6月に政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が改正されたことを受け、「セクハラ・パワハラ ハラいっばいの現代社会」と題して、大分県人権問題講師団講師である、ことの本葉クローバー代表の松本久美子氏にお話しいただきました。



県議会今後の動き

- 令和4年第1回定例会の日程(予定)
- 2月24日(木)開会
- 28日(月)本会議
- 3月2日(水)本会議・常任委員会
- 3日(木)～4日(金) 本会議(代表質問)
- 7日(月)～9日(水) 本会議(一般質問)
- 10日(木)～16日(水) 予算特別委員会
- 17日(木)～18日(金) 常任委員会
- 23日(水) 予算特別委員会
- 25日(金) 閉会

議会ロビーでの展示

◇元氣のてるアート!
(11月5日～30日)

大分県内在住の障がいのあるアーティストの作品(絵画、切り絵、絵手紙等)を展示しました。



◇障がいのある人の表現×○○○で

社会と繋がる(12月1日～28日) 大分県内在住の障がいのあるアーティストの表現が、

民間企業、や団体、行政機関によって活用されている事例の展示を行います。



議会を傍聴される皆様へ

傍聴をご希望の方は、日程を確認のうえ、会議当日、議会棟1階の傍聴受付までお越しください。先着順で傍聴券を交付します。

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

- 発熱やせき等で体調がすぐれない場合は、入場をご遠慮ください。
- 備え付けのアルコール消毒器にて手指を消毒してからご入場ください。
- マスクの着用をお願いします。



- ★県議会のホームページで本会議の中継・録画をご覧になれます。左のQRコードからホームページにアクセスのうえご覧ください。
- ★大分ケーブルテレコム・大分ケーブルネットワーク・CTBメディア・KCVコミュニケーションズでは本会議の中継を行っています。放送時間は各局へご確認ください。

【県議会ホームページでは】

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

Q検索

お問い合わせは県議会事務局まで

- 【総務課】 議会庶務、情報公開など TEL 097-506-5019
- 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など TEL 097-506-5022
- 【政策調査課】 調査業務、議会広報など TEL 097-506-5035

広報誌「県議会おおいた」は、地区情報コーナー(各振興局)、県内各市役所、町村役場などに配布しておりますので、ご利用ください。

点字版・音読版

「県議会おおいた」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成・配付しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで。